

# 図書館だより10月 上水高校図書館

本を読むのに最適な季節が巡ってきました。本を片手に秋の夜長をお楽しみください。

読書週間 10/27~11/9

今年の標語 「ラストページまで駆け抜けて」

## 読書週間の歴史

「読書の力によって平和な文化国家を作ろう」という決意のもと図書館、書店、出版社、マスコミ等も加わって、戦後間もない1947年に第1回が開催されました。今では国民的行事として定着、日本は世界有数の「本を読む国民の国」となっているそうです。

## 図書館からのお知らせ

- ・**レイチェル・カーソン**に関する本を集めてみました。  
環境問題が課題の参考資料として、レイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」などを利用する生徒さんが来るので、まとめて置いてみました。マンガコーナーの近くのブックトラックの下の段にあります。  
(他にも環境問題に関する本は、請求記号519と468に沢山あります。)
- ・**コロナ感染症について書かれた新しい本**は、カウンターに置いてあります。  
まだ、しばらくの間付き合っていかなければならなさそうですね。沢山知識を身につけて、決して罹らないように備えましょう。
- ・**図書館の窓**は、換気のためなるべく開けてありますが、寒く感じる時は窓際の人は自由に調整してください。風邪などひかないように。  
(換気扇は常に稼働しています。窓は閉めても大丈夫です。)



## 今月の司書のおススメ本



「猫弁と星の王子」大山淳子

猫弁シリーズ 久々の新刊ができました！お待ちしてました！猫だらけの事務所でお人よしの天才弁護士百瀬太郎が、今日もまた厄介な事案を優しく解決していきます。喫茶店で突然赤ちゃんを預けられたり、詐欺の被害者が転がり込んできたり。相変わらず大忙しで、結婚式もままならない。そして「死なない猫」って一体……。

「ハリネズミは月を見上げる」

あさのあつこ

引っ込み思案な性格の鈴美と凛とした雰囲気纏う比呂。対照的な二人の少女が出会い、お互いに自分の悩みと向き合いながら共に成長していく物語です。

我儘と我慢しないということは違う。理不尽なことにどう立ち向かえばいいのか、怒りはどこにぶつけるのか・・・高校生から熱狂的な支持を得た青春小説です！

「三体」劉慈欣

「三体Ⅱ 黑暗森林」上・下 劉慈欣

三体三部作です。SFです。三体っていったい何でしょう？難しいところは多々あります（私には難解箇所が多い）が、読んでいるうちにええっそうなの？これでどうなるの？とかいろいろ考えさせられたり、悩まされたりするお話です。

アジア圏で初のヒューゴー賞長編部門受賞作品です。現代中国の最大のヒット作とのこと。ぜひ挑んでみてください。

## 今月の図書館展示・・・テーマは『スポーツの秋・芸術の秋』

「〇〇の秋」ということで今月はスポーツと音楽に関する小説を集めてみました。スポーツの秋、芸術の秋、それぞれの物語を読み「読書の秋」を過ごしましょう！

『どんまい』 重松清・・・人生、抱えているものは色々な、普通の人々。年齢も性別もバラバラの人間が草野球のチームメイトになり、野球を通して交錯していく中でそれまでを振り返ったり、前に進もうとしたり。大人はみんな、後悔しながら生きている。どうせ辞めるなら後悔しなさい。後悔しなかったことを後悔する日がいつか来るから。という一節が深いです。これから先の人生のため、ちゃんと負けられるように一回でも勝つ。どんまい。出てくる言葉の一つ一つが深く温かく、ほろりとさせます。秋の夜長にぜひ読んでみて下さい。